

平成27年度 岐阜支部症例検討会 活動報告

日時：平成27年11月29日（日） 10：00～12：00

場所：岐北厚生病院（講義室）

座長：岐阜保健短期大学 池田 雅志 先生

<演題名>

①頸椎症術後、四肢運動困難となり再手術を呈した症例の基本動作獲得を目指した検討

山内ホスピタル 境 真由 先生

②視床出血を呈し、在宅復帰に向け歩行能力に着目した症例

山内ホスピタル 岡田 秋斗 先生

③関節鏡視下腱板修復術後、可動域改善を目標とした検討

山内ホスピタル 早野 英里 先生

参加者：14名（内発表者：4名）



アンケート結果

- ・グループディスカッションにすると意見が出しやすい。今回は質疑応答しやすい環境だった。
- ・多数の病院、スタッフに参加・発表して頂けるよう声掛けが必要。
- ・急性期・回復期・在宅の方が集まり、1人の症例を検討してはどうか。
- ・1症例の発表時間を制限なく増やしてほしい。
- ・病院入り口が分かりにくい。

平成27年11月29日（日） 岐北厚生病院にて平成27年度 岐阜支部症例検討会を開催致しました。

今回は3名の症例発表者に参加していただきました。また、十分な質疑応答の時間も持て少人数ながらも活発な意見交換が行われました。症例検討後は他病院間での意見交換の場をつくり、それぞれの経験や知識を共有することができたと思います。しかし、参加者が少なく発表者にいたっては1病院のみの参加となってしまったのは残念でした。

今後も参加しやすく活発な意見交換の場所になるよう検討していきたいと考えます。